

夜明け前、原爆碑前で犠牲者を追悼する
人たち=6日、広島市の平和記念公園



被爆78年 広島

核のない世界に願う

「広島は原爆が投下されてから78年がたったのです。広島市は平和公園には夜明け前から多くの市民が訪れ、原爆で亡くなった人々を思い、核兵器のない平和世界を願いました」
(田中真理)

「西郷がある日、友達で、おとこが広島市被爆の世・児被爆した」と語るの。田中さん(74)です。早朝5時半に起きた。母は、原爆で亡くなつた人々を思い、核兵器のない平和世界を願いました。

毎年の原爆の日は、朝鮮戦争の参戦を経て、自分たち和公園を訪れる。話す。妻子さん、被爆の体験を西郷が語り聞いことがあるなか、「父も85年まで生きていたんだよ」と語りました。

「父はとても話したがらなかったんですね。もうじつは、おひさかって後悔している。ウクライナで戦争が始まってから、私も次の中止で原爆の原爆のことを語らうとしたな

りました」
の原のOCT(主要7カ国)サミットで海外から多くの問題が訪れたことについて、「世界のリーダーに被爆の実相が伝わってほしい」と語りました。

「父が信徒運動家で、14歳のときに被爆しました。ウクライナでの戦争を見て、胸が苦しくなるんです。核兵器禁止条約について、「唯」の戦争被爆

自分たち若い世代が受け取る

話し合いで解決

中学生の藤原景祐さん(15)、田中景一さん(大)、学教園の父・藤原さん(46)ら3族4人で手を合わせました。
「今日は學校山なので早く起きてしまった。學校でも原爆のことがどう事

争の想像を貰って、自分たちのよつな頃の世代がこれかん、被爆の体験を西郷が語り聞いことがあるなか、「父も85年まで生きていたんだよ」と語りました。

「トコヒで流れている戦争の映像を見て、自分たちも原爆の被爆を遭った人たちがいる」と語ります。

「戦争があの」被爆が犠牲となるものです。妻子は原爆を抱ひこむのが大変でしたね」と語りました。

「この原爆は学徒動員されただけで、世界から核兵器がない世界が来る」と願っています。

8/17 木曜

広島市が平和記念式典



原爆が投下された8時15分ごと黙とうする式典参加者=6日、広島市中区

市長「核抑止論は破綻」 知事「廃絶の他ない」

広島市が平和記念公園で開いた平和記念式典には、遺族、市民、国連や各国代表、自治体、政党関係者ら約5万人が参列しました。岸田文雄首相はあいさつで、「核兵器のない世界」と言いながら、そこに進むための核兵器禁止条約、核不拡散条約（NPT）には一切触れませんでした。これに対し、広島市長、広島県知事が「核抑止力」論を批判。広島市長は日本政府に核兵器禁止条約の締約国になるよう求め、国連事務総長は核兵器禁止条約について発言しました。

松井一実市長は「平和宣言」で、核兵器廃絶を「究極の目標」として「核抑止力」論を主張した主要7カ国（G7）首脳会議の「広島ビジョン」に言及。「核抑止論は破綻している」と述べ、核

抑止論からの脱却を促すことが重要だと強調し、日本政府に一刻も早く核兵器禁止条約の締約国となるよう要求しました。湯崎英彦知事は、「核抑止」を厳しく批判し、「核兵器が存在する限り、人類滅亡の可能性をはらんでいる」「廃絶の他ない」と強調しました。

国連のアントニオ・グテレス事務総長のあいさつを中満泉軍縮担当上級代表が代読し、「核のリスクを排除する唯一の方法は廃絶」だと表明しました。

小学生2人が「平和への誓い」を朗読。原爆が投下された午前8時15分から1分間黙とうしました。この一年間で死亡が確認された被爆者5320人分の名簿が奉納され、累計33万の被爆者とな

りました。

首相、禁止条約に触れず